



訴える尾村県議、亀谷ゆう子参院予定候補と市議団ら

78回目の憲法記念日 憲法を暮らしに生かそうと宣伝

日本国憲法施行から78周年の5月3日、日本共産党のたちばなふみ、佐野みどり、樋野伸一の各市議は、亀谷ゆう子参院鳥取・島根選挙区候補、尾村利成島根県議、村徳江利子党県副委員長らと憲法を守り生かす決意を述べました。

亀谷氏は「生存権」が守られていないもとで、大幅な賃上げや年金の拡充が必要だ」と強調し、「政治を変えるために参院選で日本共産党を躍進させてほしい」と訴えました。尾村氏は、いま変えるべきは憲法ではなく、財界・大企業中心、アメリカ言いなりの政治だと強調。「『日米同盟絶対』で戦争する国ではなく、9条を生かした外交で戦争の心配ないアジアをつくらう」と呼びかけました。たちばな氏は「ないがしろにされている女性や子ども、高齢者の権利もあり憲法を実現する政治へケア労働者の処遇改善へ声をあげよう」と述べ、佐野、樋野の各氏は、松江から平和憲法の精神を発信していく決意などを訴えました。



挨拶する亀谷ゆう子参院予定候補と市議団ら

働く者の団結で命まもる政治を しまね労連がメーデー集会開催

しまね労連などが主催する

第96回島根県中央メーデー

が1日、松江市内で開催されました。約300人が集い、労働条件の向上と労働者の権利を前進するための団結を誓い合いました。しまね労連副議長長の塩治隆彦実行委員長代理は、中小企業や医療・介護、保育などのケア労働者の賃上げがすすんでいないと指摘。「軍事費の急増が社会保障予算などの後退をもたらしている。大軍拡・増税ノーマの声を広げていこう」と呼びかけました。

参院鳥取・島根選挙区候補は、たちばなふみ、佐野みどり、樋野伸一各市議らと共にあいさつに立ち、「物価高騰などによる生活困難は政治が生み出している。参院選で間違った政治を正していこう」と訴えました。集会ではデコレーションコンクールと称し参加団体が保育や介護、医療現場の実態、選択的夫婦別姓実現、暮らせる年金を、など多彩な手法で訴えました。

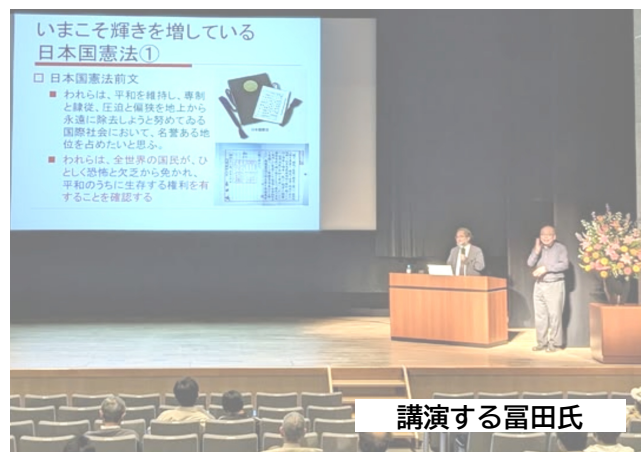
集会後、参加者はリレートークやプラカードを掲げてスタンディングアピール。松江市議団も「軍事費拡大やめて・ジェンダー平等・給食費無償化を」とのぼりを掲げ市民にアピールしました。

憲法9条は世界の宝 メイクピースのつどい開催 富田宏治関西学院大教授が講演

今年で78回目となる憲法記念日の3日、「憲法9条は世界の宝メイクピースの集い」が、島根県民会館中ホールで開催され250人の市民が集いました。主催者である憲法改悪反対5・3実行委員会を代表して岡崎由美子氏が挨拶。

「ウクライナやガザの状況を見ても、国際間の紛争を国連憲章に基づき平和的手段によって解決させる私たちの世論と運動が今ほど重要な時はない」と訴えました。

オープニング企画は朗読劇『さあちゃんとヒロシマ』。



講演する富田氏

広島原爆で女学校の同級生223人を一度に失った西尾幸子さんの体験を基にしたもので新婦人松江支部の朗読サークルが制作上演しました。

メイン企画は富田宏治氏（関西学院大学教授）が『終戦・被爆80年。戦争も核兵器もない世界の実現を〜憲法9条と核兵器禁止条約を「希望の光」として』と題して講演。

富田氏は、遺体を踏み越えて生き延びた被爆者の苦しみを紹介し「人間として死ぬことも許さないのが原爆」であり、「核保有大国の横暴を許してはならないとする世界政治の

民主主義と法の支配によって生まれたのが核兵器禁止条約」と強調し、「被ばくの実相をひろめ、日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める運動をすすめて」と呼びかけました。

講演後「9条改悪と緊急事態条項を追加する改憲発議を許さず、軍拡を中止して税金を私たちの生命や生活をまもるために使う政治に変えましょう」との集会アピールを採択しました。この集会は、憲法改悪反対の一点で共同する「憲法改悪反対! 5・3実行委員会」により2004年から開催されています。



朗読劇「さあちゃんとヒロシマ」